

北上市市民活動情報センター NEWS

毎月第1
木曜日発行

地域づくり・市民活動などのご相談は北上市市民活動情報センターへ

発行 北上市市民活動情報センター
(受託者) いわてNPO-NETサポート
北上市大通り1-3-1 おでんせプラザぐろーぶ4階
0197-61-5035 shimin@npo2000.net

Instagram



facebook



Vol. 177

2026年1月号

つながりをつくりましょう

北上市まちづくり
マッチングフェア2025

2月27日（金）開催！



交流センターさんの
講座まとめました

1月



情報センターの「1月の講座予定」ページは、
印刷もできますのでご活用ください。

学生、企業・各種法人、地域づくり組織、市民活動団体、行政など、異なる背景や専門性をもつ団体が集まり、お互いの取組みを応援し、協力し合うつながりづくりを目指します。

◆開催日時

令和8年2月27日（金） 14時30分～17時
(14時～17時の間、自由に出入りできます)

◆会場

北上市生涯学習センター3階 特設会場
(北上市大通り一丁目3-1 おでんせプラザぐろーぶ 3階)



◆実施内容

1. まちづくりピッチ

エントリー団体が、相互理解を深めることを目的に、3分程度で活動紹介を行います。

2. 学生探究ピッチ

地域課題の解決に向けて探究活動に取り組む市内学生による成果発表です。

3. ポスターセッション

新たな担い手・参画者の増加を目的に、掲示物等によるPRブースを設置します。

※内容は一部変更の可能性があります

◆ 参加事業者・団体募集(参加方法は4種類)

1. ピッチ参加

ステージでの3～5分間のピッチ(募集プレゼン)と、ポスターセッションでの活動紹介・仲間募集を行います。

2. ポスターセッション参加

ポスターセッションで活動紹介・仲間／支援者募集を行います。(ステージ発表なし)

3. チラシ&ポスター参加

当日の来場はせず、会場でのポスター掲出やチラシ配布などの情報発信を行います。

4. 関わり探し参加

さまざまな活動を“聞く・見る”ことで関わりたい活動を見つける参加方法です。(申込不要)

◆参加申し込み

1月23日(金)までに申し込みフォームから→



黒沢尻東地区自治協議会

地元の自然素材で「ミニ門松をつくろう」

12月9日(火)、黒沢尻東地区交流センターで、趣味講座「ミニ門松をつくろう」が開催されました。

会場は終始なごやかな雰囲気に包まれ、参加者の皆さんにお正月に向けて、それぞれの「ミニ門松」づくりを楽しんでいました。

当日の様子



講師は川岸在住の菅野好一(よしかず)さんです。現在は、交流センターやふれデイ、フリースクールなど、市内外のさまざまな場で、地元の自然素材を生かしたものづくりの魅力を伝えています。



ミニ門松に使われている、わらや青竹や松枝、南天などの自然素材は、講師が地元で採取したもので。こうした素材を使って、お正月を彩るミニ門松に仕上げていきます。



最初にして一番の勘どころは、わらを缶に均等に巻き付け、内側をガムテープで固定する工程。参加者の皆さんには、講師のアドバイスを聞きながら、丁寧に取り組んでいました。



工程が進んでくると、参加者同士で「こうかな?」「ここはどうするの?」と声をかけ合いながら、教え合う姿が見られました。



それぞれの手から生まれたミニ門松には、気持ちがこもった温かさがあふれていました。

取材にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。



NPO法人 芸術工房

地域課題の解決へ 文化芸術×福祉「認知症セミナー」

12月8日(月)、文化芸術と他分野の連携によるモデル事業「認知症×文化芸術」の一環として、認知症セミナーが開催されました。

この事業は、認知症への正しい理解を広め、文化芸術を生かした高齢者にやさしい地域づくりを目指し、岩手県が主催(NPO法人芸術工房が企画運営を担当)し、北上市の共催により実施されました。

8日は認知症セミナー等、翌9日には「対話と表現あそびワークショップ」が開催され、参加者は、体験を交えた多様なプログラムを通して、認知症への理解を深めました。

ここでは、認知症セミナー当日の様子を一部ご紹介します。

第1部 認知症サポーター養成講座



地域包括支援センターや市の職員から、認知症に関する正しい知識や、寄り添った対応の仕方、そして北上市での取り組みについて説明がありました。



NPO法人 芸術工房
常務理事 昆野 將俊さん

演劇等の表現活動は、自己表現やコミュニケーションを学ぶ機会となり、社会参加や自己理解を深めるきっかけにもなります。成功体験や充実感を得られることで、寛容であたたかな地域づくりにもつながります。文化芸術が他の様々な分野と連携し、地域課題の解決や地域の活性化へ広がっていくことを願います。

第2部 表現ワークショップ事例紹介



演劇の分野で活躍されている佐川大輔さんと中原くれあさんを講師に迎え、中学校や適応指導教室、介護施設などで実施しているワークショップについて、実例を交えて紹介がありました。

お話の中では、認知症の方には「成功体験」や「安心して取り組めること」が大切であること、また、身体・声・感情を同時に使う演劇は脳を幅広く刺激し、良い影響が期待できることが伝えられました。

和やかな雰囲気の中、参加者も体を動かしながら演劇の力を実感できる時間となりました。

NPO法人 芸術工房

■理事長 菅野 浩一
■事務局 江釣子ショッピングセンターバル
1階 カルチャールーム
(北上市北鬼柳19地割68番地)
■連絡先
電話 0197-64-7567(FAX兼用)
メール info@g-kobo.net

岩手県建設業女性協議会 北上支部

地域と建設業を支える、ボランティア活動

岩手県建設業女性協議会北上支部は、岩手県建設業協会北上支部に所属する、建設業で働く女性で構成された会です。

現在、北上支部には19名の会員が所属し、さまざまな場面で活躍しています。

スポーツイベントを通じて地域活性化



岩手県建設業女性協議会北上支部は、10月12日に開催された「2025ランフェスきたかみ」にて、給水所スタッフとしてボランティア活動を行いました。

同支部の前身である建設業女性マネジングスタッフ協議会北上支部は、2012年から「いわて北上マラソン」の給水ボランティアに継続して参加しており、地域のスポーツイベントを通じて地域活性化に貢献しています。



岩手県建設業女性協議会 北上支部
支部長 松井 真理子さん

建設業は、自分の手がけた仕事が形として残り、達成感を実感できる仕事です。
今後も、建設業の魅力を広く伝え、多くの方に親しみを持っていただけるような活動を続けていきます。

建設業に親しむ体験コーナー



11月30日に開催された「きたかみ子どもフェスタ2025」において、建設業担い手育成の一環として「乗ってみよう はたらくクルマ」コーナーを開設しました。

多くの子どもたちが、本物の建設機械に乗る体験や建設機械のおもちゃで遊ぶ体験を楽しみ、会場は笑顔であふれていました。

乗ってみよう はたらくクルマ



建設機械のおもちゃで遊んだり、
本物の建設機械に乗ったりできるよ！

開催日時: 2026年 2月3日(火)
13時～16時

会 場: 北上市保健・子育て支援複合施設
「hoKko」1階 ほっこひろば

対 象: 就学前のお子さんと保護者

※入場無料です